

関係各位

株式会社 山喜農園
新潟県魚沼市原1280-1
TEL. 025-794-2455
FAX. 794-4168
E-mail: info@yamaki-noen.co.jp
HP Address: http://www.yamaki-noen.co.jp

球根情勢報告

2017年9月期フランス/オランダ*出張報告

平素よりお引き立ていただき誠にありがとうございます。

9月3日～9月11日までフランス/オランダ*へ出張してまいりました。
それらを中心にご報告いたします。

2017年産オランダ*産チューリップ*球根 (概ね2017年12月～2018年4月切花用)

入荷が遅れているのでしょうか？

8月末日までの入荷量が前年対比でおかしな事になっております。(当社ホームページ*でご確認ください。)
輸出業者曰く、過去経過年と見比べる時は、8月輸入量と9月輸入量の両方を見てからでない…との事。
(輸出業社から輸入防疫統計の見方を教えてもらおう…。)

欠品が多いですね。

世界、特にオランダ*自国での球根消費が大きく伸びています。

2017年産アリス球根 (概ね2018年10月～12月抑制切花用)

チューリップ*同様、作は良くない。

一方、世界消費はチューリップ*とは違い低迷していますから、日本向けはほぼ大丈夫でしょうとの事。
一生懸命球根選別をしていました。

2016年産オランダ*/フランス産百合球根 (概ね2017年4月～2018年3月切花用)

ここまでの所、大事故はない年となっている様子。

西日本・東日本において真逆の天候。

鍵は、東日本の6月の低温、7月の高温と大雨、8月9月の低温。

北海道・東北・新潟の産地ではお盆・お彼岸共に前年対比ではなく計画対比10～15%くらいの作付けの分が、
1週間から10日間の遅れが出ている様子。6月後半定植分は、逆に出荷が早まってしまうケースも。(8月のお盆前・お盆明けは…、夏秋切花品目、特にリト*ウ・菊類は大変だった?)

天候に泣かされた年になった様ですね。

今後の状況は…、

例年39協力市場様をお願いしている販売情勢につきましては、1期遅らせてもらい、1～9月末までの販売が
7/4、3/4期分で調査させていただき予定しております。

2010年以降どんな動きとなっているか注目しています。

何か見えてくるものがあると思いますよね。

対日市場大手輸出業社からの聞き取り調査によれば、O.H/O.T系の球根輸出量は横ばい。A.H/L.A系の球根輸出量は微減との事。(A.H/L.A系の微減って、いったい何球くらいなのでしょうね。1,500,000球以上??)ここまでにどんな切花生産出荷がなされたのか興味深いです。

結果これからの様子も見えてくるのではないのでしょうか？天候に泣かされた分、取り返せばよいのですが…。

世界的には…、

O.H系、A.H/L.A系の不良在庫は少ない。O.T系の不良在庫が昨年比（15年産比）大きくなっているとの事。

日本は…、

比較的流通未販売在庫の少なめな年となっているのでは？

（天候の影響により、球根出庫が遅れ気味となっているが、球根流通に過剰感がなければ…。）

2017年産南半球産百合球根（概ね2017年12月～2018年5月切花用）

一時船積みバタつきでしたが、正常に回復してきている様です。

全体的な温室スケジュールに遅れが出ている産地がある様で、早期球根出庫リクエストが少なめとなっている様です。結構遅くまで南半球産を使うことになるのでは…。

ワグ産球根低温積算不足等、近年ワグ産の使用時期が遅れてきていますので、何とかうまく温室施設が回転してくれればと願っています。

昨年9月期に輸出業社から聞き取った16年産南半球産品目別販売状況を比較すると、O.H/O.T系は微増。（2.6%増）A.H/L.A系は、激減となっています。（49.4%減。推定1,250,000球減。）

そうは言っても、南半球産の球根は北半球産との比較で分母が小さい。16年産ワグ産球根の品目別輸入量の増減の影響の方が大きい。

いずれにしても、A.H/L.A系は前年比で減少。O.H/O.T系は、横這いから微増程度となるのではないかと思います。むしろ施設回転の乱れの方が気になるところです。（推定値は当社ホームページに載せてあります。ご確認ください。）

世界的には…、

N.Z産作況良。アジア市場を中心に輸出量増加。

C.H産作況については、農家間により差がある様ですが、概ね良かったのではないのでしょうか。

中国市場に過剰感が出ている為、かなり在庫がある様子。（O.T系を中心に不良化の動き。）

日本は…、安くても買わないでしょう。（球根輸入量増えてもロクな事にならない。）

百合切花輸入状況

余談ですが、1月～7月まで増加していた百合切花輸入量が、8月単月で激減。（単月で550,000本も輸入量減少！）

単月の減少が大きかったため、1～8月通期の輸入量は前年並みとなっている様です。（植物防疫統計は、速報値の為、翌月修正される場合がある。）

なぜでしょうね？ここ数年の動きと明らかに違います。

まさか、韓国も作が遅れているのかな？気象災害がありましたっけ？

シラとバリアの球根が買えなかったって韓国輸入業者は嘆いていましたけど…。

2017年産ワグ/フランス産百合球根（概ね2018年4月～2019年3月切花用）

ここから出張報告です。

①フランス 今回が7回目の訪問でした。（うち6年連続9月第1週の訪問。）

6軒の農家が日本向けロット番号を取得してある球根を生産しています。（7軒中6軒の農家。）

今回も6軒の農家の圃場確認をしてきました。

フランスの農家は1軒で複数のワグの農家から生産を受託しています。

2軒の農家は、1軒のワグの農家の受託。

2軒の農家は、2軒のワグの農家の受託。

1軒の農家は、6軒のワグの農家の受託。

1軒の農家は、9軒のワグの農家の受託。

生産年によって若干の変動アリ。

作況は、

6軒中5軒の農家は、大変良く出来ているように見えました。小さいサイズから（16/18～）大きなサイズへの変更依頼が起きるような状況になってくれればと思います。

5軒の中では、シラのみ、出来が良くないように見えました。少なからず欠品が出るのが予測されます。

1 軒のみ生育初期の霜の害。今現在、既にボトリス等が広範囲で確認されました。試し掘りも行っておりますが、肥大についてやや心配されます。

ザンバジ・ソルボンヌ・シベリア・チャミング・プレミアブント・ヨーブなどが対象となります。(O.T系でも作の悪い畑有り！)

ザンバジ・ソルボンヌ・シベリアは、複数の生産地・生産者により栽培されておりますので、掘り取り結果にばらつきが出ると思います。全体傾向はまだ言えません。(従って、シベリアなどを中心にコンディション変更が起きます。)

生産者が一軒のみの品種については、その農家の作況がダイレクトに結果に結びついてきます。若干心配な要素がありました。

2 軒の農家は、数千万円規模の新規投資を行い、オランダとフランスの生産面積比率を大きくフランスにシフトしてきていました。大変ありがたい動きも確認できました。

マック社は、現在リストチャリングの最中ですが、栽培面積を減少させておりましたが、ほぼ全量近くの球根生産をオランダからフランスに移動したようです。

推定 400,000 球を超えるシベリアの生産を行っていましたが、ほぼ全量がオランダの球根農家の原母球として販売されているとの事です。

もうすぐライセンスが切れてしまいますシベリアですが、オランダの農家は種球をマック社生産分にて更新し、継続生産してくれる方が出てきている様です。

良かった。

この内の一部は、フランスでの球根を生産している農家にも入ります。

残念ながらフランスで生産されている品種は、大幅に増加してはいません。

より多くのオランダのオーナー農家が、フランスに進出してこない品種数の増加にはつながってきません。

ブレッカー社、ワールドフラワー社、テヨング社などの育種会社が直接フランスの農家との契約栽培でも始めない限り、なかなか品種は増えてきません。

日本でしか売れない品種は生産しにくいなど、構造的な問題を抱えています。(N.Z/C.H同様。)

O.T系球根生産流通には、かなりの逆風が吹いている様です。

長期的には、O.T開発の流れは変わりませんが、この17年産/18年産あたりでは、世界中のO.T系球根生産農家は相当な辛酸をなめる事となる様です。

冷静な農家は、オランダとO.T系の生産面積バランスの見直しを始めてくれている様に見えました。(リスク分散。)

*余談ですが、フランスでウーリーター・ホイトフォックスの生産がありました。

オランダ産だけでなく、フランス産も入ってくるのかな？

②オランダ (2002年から…今回は独りだったから…寂しかった。)

育種会社曰く、(オランダで最も、広域に球根を生産している立場。)切花用の開花球生産、原母球生産を行う場合、意識している事は…、

北部オランダでは原母球栽培、リンペン栽培(涼しい。)東部オランダが最も気象が安定している。

南部オランダは気象変動が大きい。(フランスも変動が大きいという認識。)

というのがベーシックな見解。

ここ5~6年では…、

東部オランダは、天候に泣かされておりました。南部オランダは、天候に恵まれておりました。

昨年16年産については、東オランダは遅霜の被害。南部オランダは大雨により甚大なる被害となっております。

本年は…、

調査した順番と報告が逆になりましたが、

北部オランダ

良く出来ているように見えます。肥大も良好でした。期待できます。

東部オランダ

春先の気候不順により定植遅れなどが確認されておりましたが、今回見た限りでは昨年比良く太っているように見えます。

透かし百合、L.Aなどは、太りすぎ回避の為、殺菌剤散布を早々に控え、球根充実のプロセスに作業が進んでいた様です。(ボトリチスがきれいに入り始めていた。)

今年は下根がしっかりしているぞ！という感想です。6~7月の天候の影響と思われる。

O.T系は、どうすんだ？って言うくらいに太っていました。

O.H系は、まずまずです。

自然は10日~2週間くらい早いのではないかとの意見もありましたが、自然界の緑の色やドングリの落ち方を見ると、昨年より早くは見えませんでした。

いつも通っている大手農家だけではなく、今まで訪問したことのないL.A農家を見てきました。

合わせて新品種、量の少ない品種よりむしろ在来系日本向け、特にバリアを中心に…、マックから原母球・リンペン栽培の親球を導入している農家の畑を見せていただきました。

植物体を見るだけでもマック社の面影は確かにあります。

ただし…

畑で栽培している見た目だけでは決まってしまうのが球根です。

掘り取り時期の設定、掘り取り後の温度管理など様々なファクトがあります。

マックと同じ球根ができるわけではありません。

出来の良い、きれいな畑を見ることは気分が良いですけどね。

南部オランダ

どングりが全く落ちていませんでした。木に生っている実もまだ全然熟成しているように見えません。(固い。緑色のまま。)

東側しかチェックしていなかった輸出業者は、作が進んでいる・肥大が良い、とのコメントでした。(同行したオランダ社含め。)皆が気になる様で、複数の輸出業社から「どうだった?」「どういう風に見えた?」と電話がかかってきています。

バンザン社が自社産の主力で生産している**ブロント**地区は良さそうに見えました。

当初50:50の割合で仕入販売をしていた「マスター」については大きく、18/20サイズへの変更依頼が入る予定です。

1N、2N、リンペン養成、1年目、2年目全般的に良く出来ていました。カサブランカの養成球もしっかり太っていた様です。

「フランス産シラの欠品予測に対してどんな対応をするんだ」と言う相談を始めています。

リッパ地区は、(最大面積)O.Tについては良く太っているように見えました、リエンル・L.A系共に、まだほとんどボトリチスの侵入が始まっていません。(作の悪い畑は別。ホップマン社にて霜害の被害が出ていました。)

自分には作が1週間以上遅れているように見えました。

まだまだ暖かい日が続く、もう1サイズ~2サイズ太ってもらわないと困るなあという印象です。

最低気温が10℃を切らなければ、肥大し続けるとの事なので、少なくとも10月10日くらいまでは天気が良いことを祈ります。

世界市場に向けての球根販売状況は、

17年産N.Z産C.H産の豊作の影響、16年産オランダ産O.T系の不良在庫の影響から、球根農家・輸出業社ともに相当ナーバスな状況でした。

中には「何億円の損害を出したとしても、その判断は5年以上前にしたことであって、それがはっきりとわかるのが今年だけ」という冷静なコメントをしている農家もいましたが…。

A.H/L.A系は、

白を中心に不足気味。赤はほとんどが切花農家からの受託生産。ピンクは日本に関係ない品種が過剰。日本向け品種はちょうど良いくらい。オレンジはまずまずバランスが取れている。黄色は…やはり日本向け以外の品種サイズが苦戦する見込み。(O.Tの黄色、イエロー・コンカドール・アウトバックなどが増加している為。)

O.T系は、

売れる品種は売れる(日本市場・世界市場)売れない品種は全く売れない!!

大きな損失を生むことになる様です。

生産組織・生産グループにより、需給バランスを見極めて球根価格の安定化を図ろうとした品種、私が勝手に「グループ オブ グロウアーズ バラエティ」という名前を付けていた品種群で取引の動きが悪く、やきもきしていました。

0.H系は、

0.T系の販売不振の影響を受ける品種もあるかもしれませんが、基本的に日本向けといわれる品種については、さほど大きく市場動向の影響を受けません。

まずは良い球根ができることを願うのみです。

新品種生産状況など他にお繋ぎしたいこともあります、今回はこのくらいにします。

*余談ですが、5月下旬以降のオランダの百合切花相場は、数週間の誤差はありますが日本のそれと似た傾向がありました。A.H/L.A系は、生産物廃棄を切花農家が全員で相談して実行していた時期があったそうです。結果として0.H/0.T系に比べて安定的な価格形成ができている様です。(シーズンを通して。)

すごいなあって思いました。

0.H/0.T系は、1月～5月20日までは、良かったり悪かったり。それ以降8月上旬までどん底だったようです。

4週間くらい前からオランダにもある露地作が増えてきたそうですが切花販売は好調との事。これからどうなりますかね？

以上、長くなりましたが、情勢報告といたします。

ご不明な点等ございましたら、お問い合わせください。

以上
森山 隆